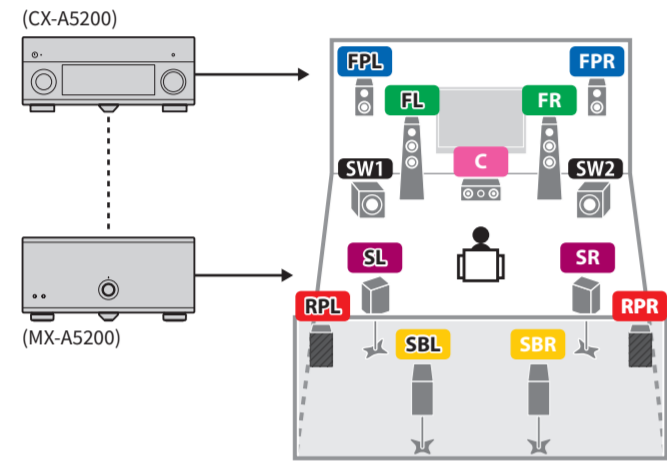


接続例

「AV プリアンプ CX-A5200」と「パワーアンプ MX-A5200」を組み合わせることで、さまざまなホームシアターシステムを構築することができます。本書では、4種類の代表的な接続例を紹介します。

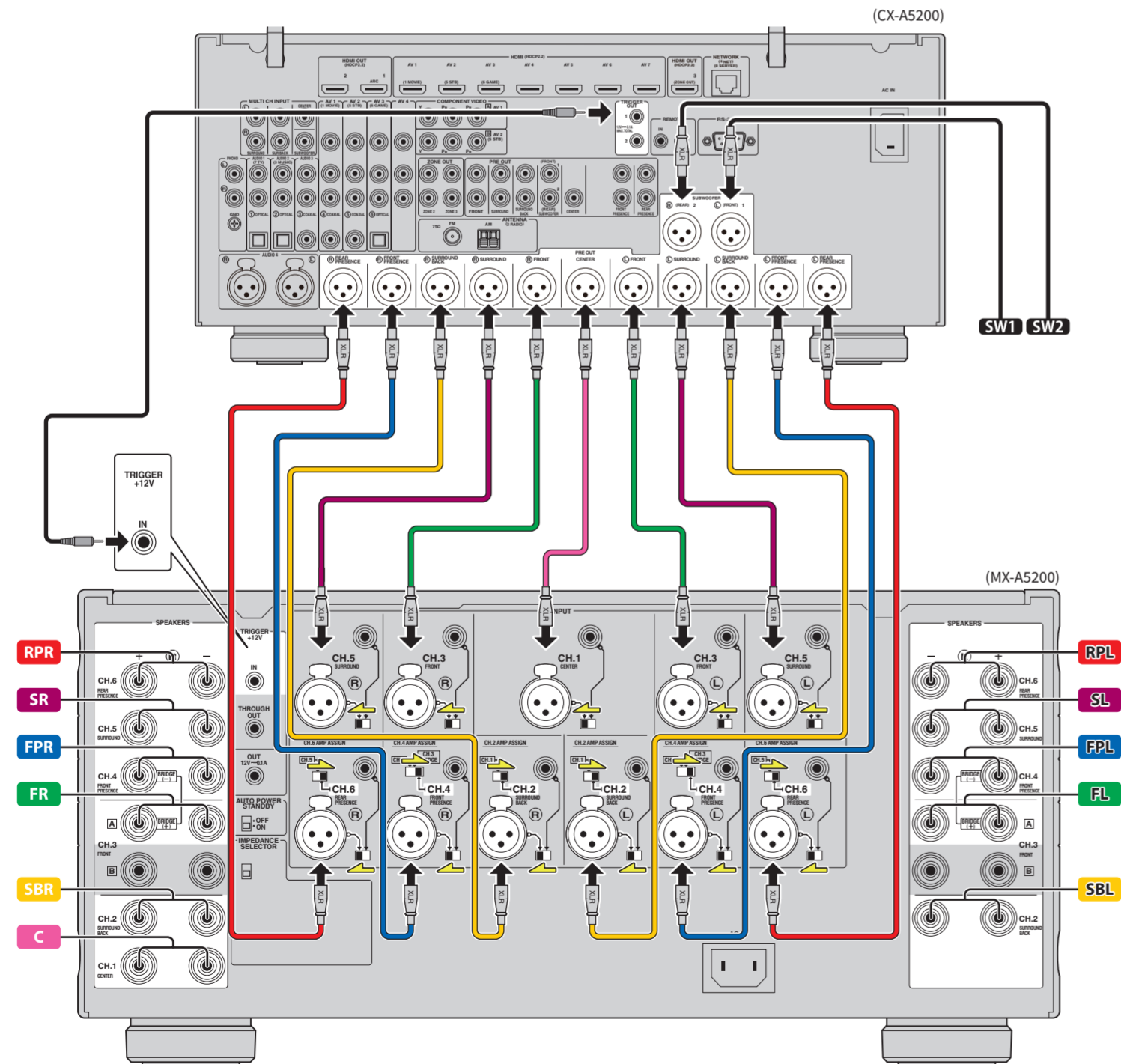
- 1 本書は接続例を示すものです。端子や設定について詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 2 機器を接続する前に、必ず各機器の電源プラグをコンセントから取り外してください。

1 最大 11.2 チャンネルのホームシアターシステム



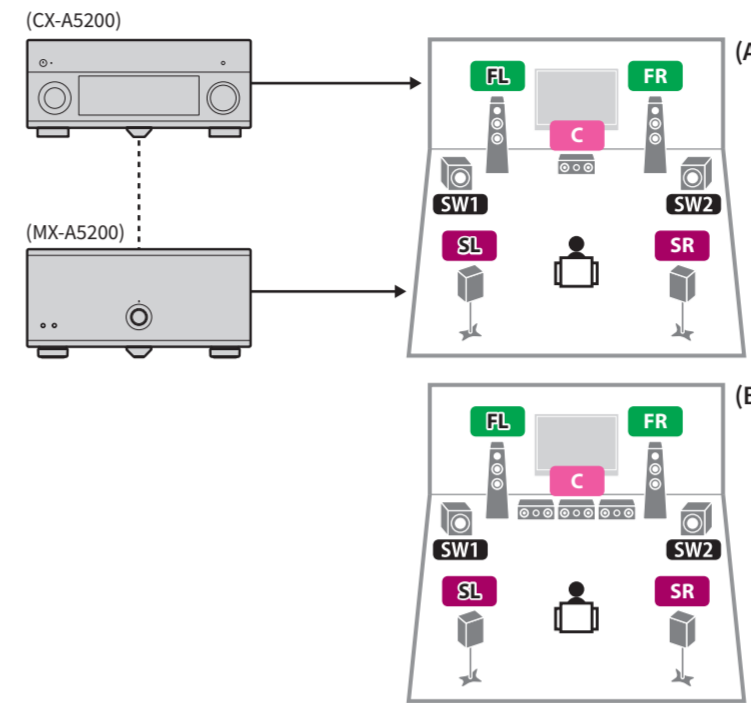
このシステムでは、シネマ DSP の最高峰 11.2 チャンネルで 3 次元音場をお楽しみいただけます。

- 1 サブウーファーの接続は、サブウーファーに備わっている入力端子により、バランス接続 (XLR) またはアンバランス接続 (RCA) を選んでください。



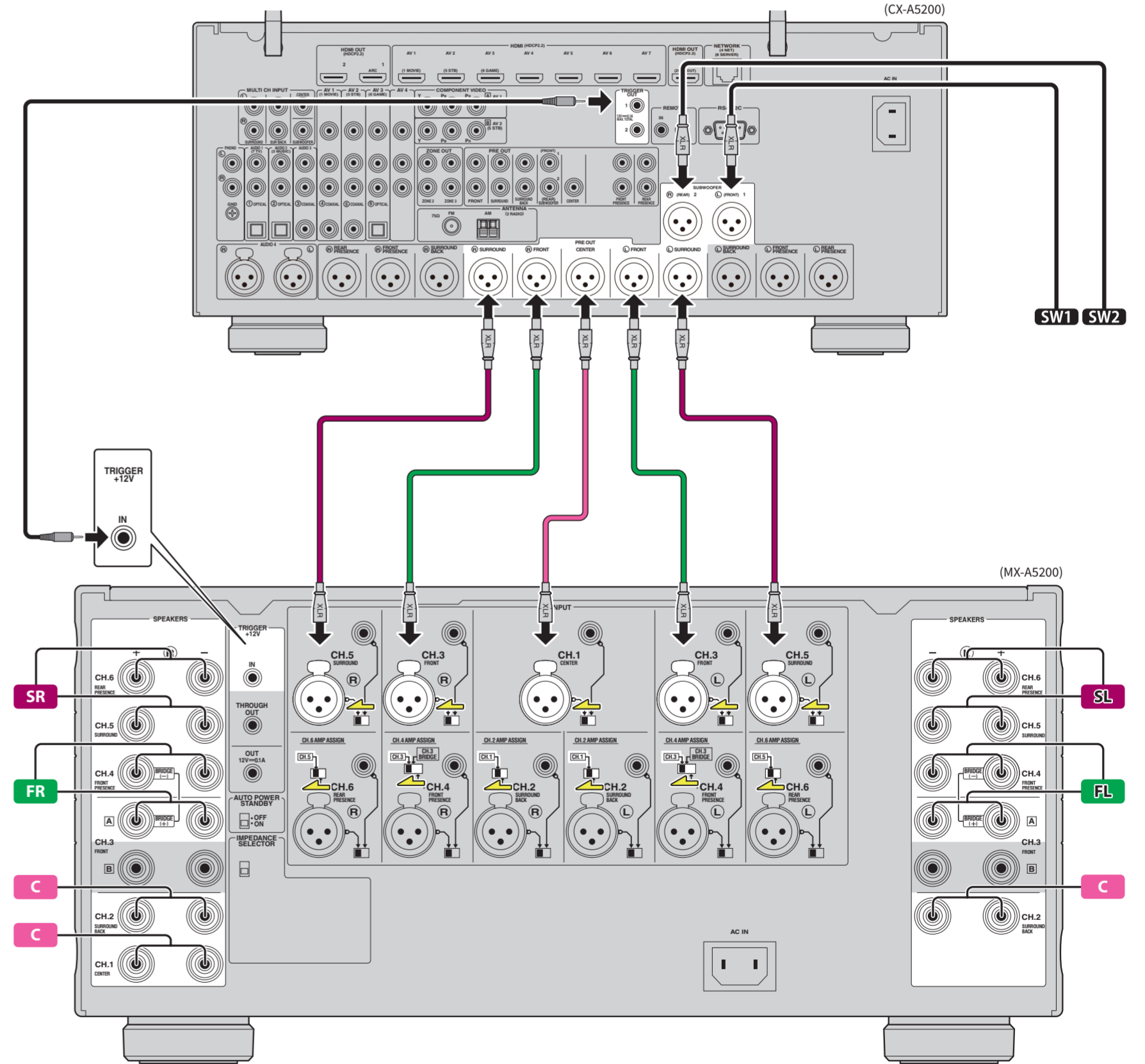
各スイッチは上図に合わせて、矢印 (▲) の方向に動かしてください。

2 5チャンネルバイアンプ接続のホームシアター



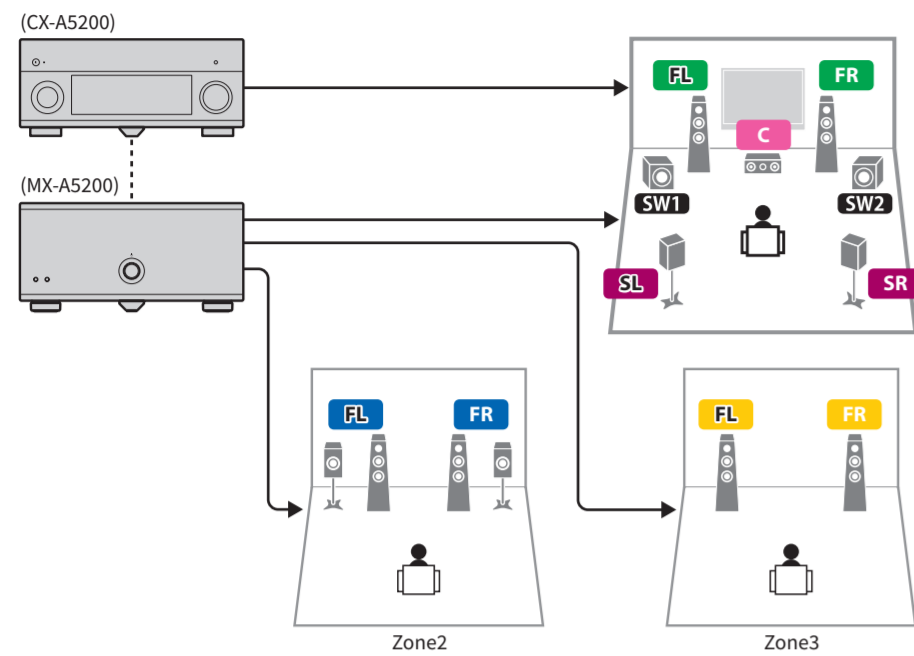
このシステムでは、バイアンプ接続で各スピーカー (5チャンネル) を接続して、さらに高音質な音声をお楽しみいただけます (図 A)。センタースピーカーは、バイアンプ接続の代わりに最大 3 本接続することもできます (図 B)。

- 1 サブウーファーの接続は、サブウーファーに備わっている入力端子により、バランス接続 (XLR) またはアンバランス接続 (RCA) を選んでください。



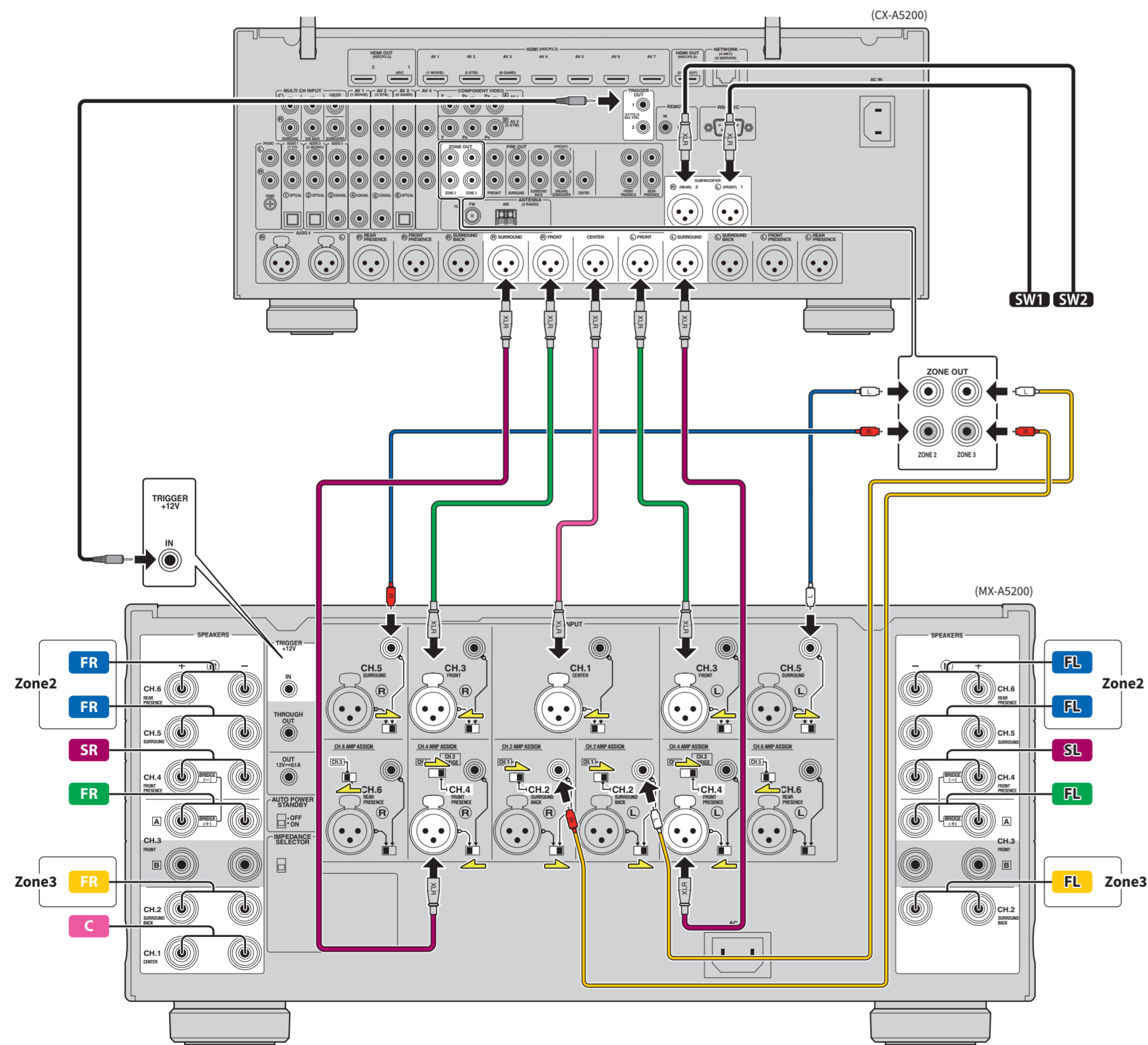
- 各スイッチは上図に合わせて、矢印 (▲) の方向に動かしてください。
- センタースピーカーをバイアンプ接続でつなぐ場合は、CH.1、CH.2 (L)、CH.2 (R) のうちいずれか 2 つのスピーカー端子に接続してください。
- 複数のセンタースピーカーを接続する場合は、同じ種類のスピーカーを使用することをおすすめします。(CX-A5200 の YPAO 補正は全センタースピーカーの総合特性で判定されます。スピーカー個別の補正はできません。)

3 メインホームシアター(5チャンネル)+2部屋(各2チャンネル)



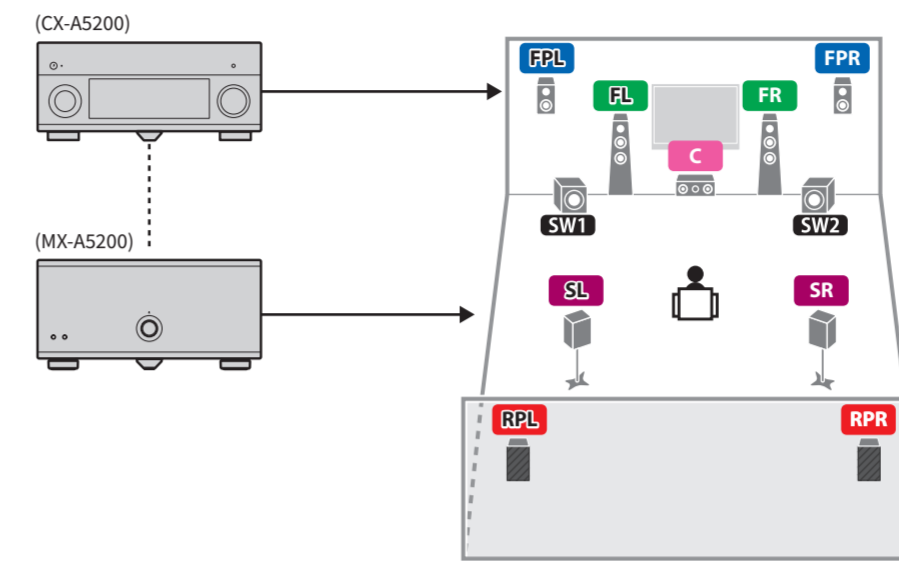
このシステムでは、メインゾーンの5チャンネルサラウンドに加えて、別の2部屋（ゾーン2、ゾーン3）でステレオ音声をお楽しみいただけます。必要に応じて、ゾーン2とゾーン3のいずれかで2組のフロントスピーカーを使うこともできます。

- ！サブウーファーの接続は、サブウーファーに備わっている入力端子により、バランス接続（XLR）またはアンバランス接続（RCA）を選んでください。



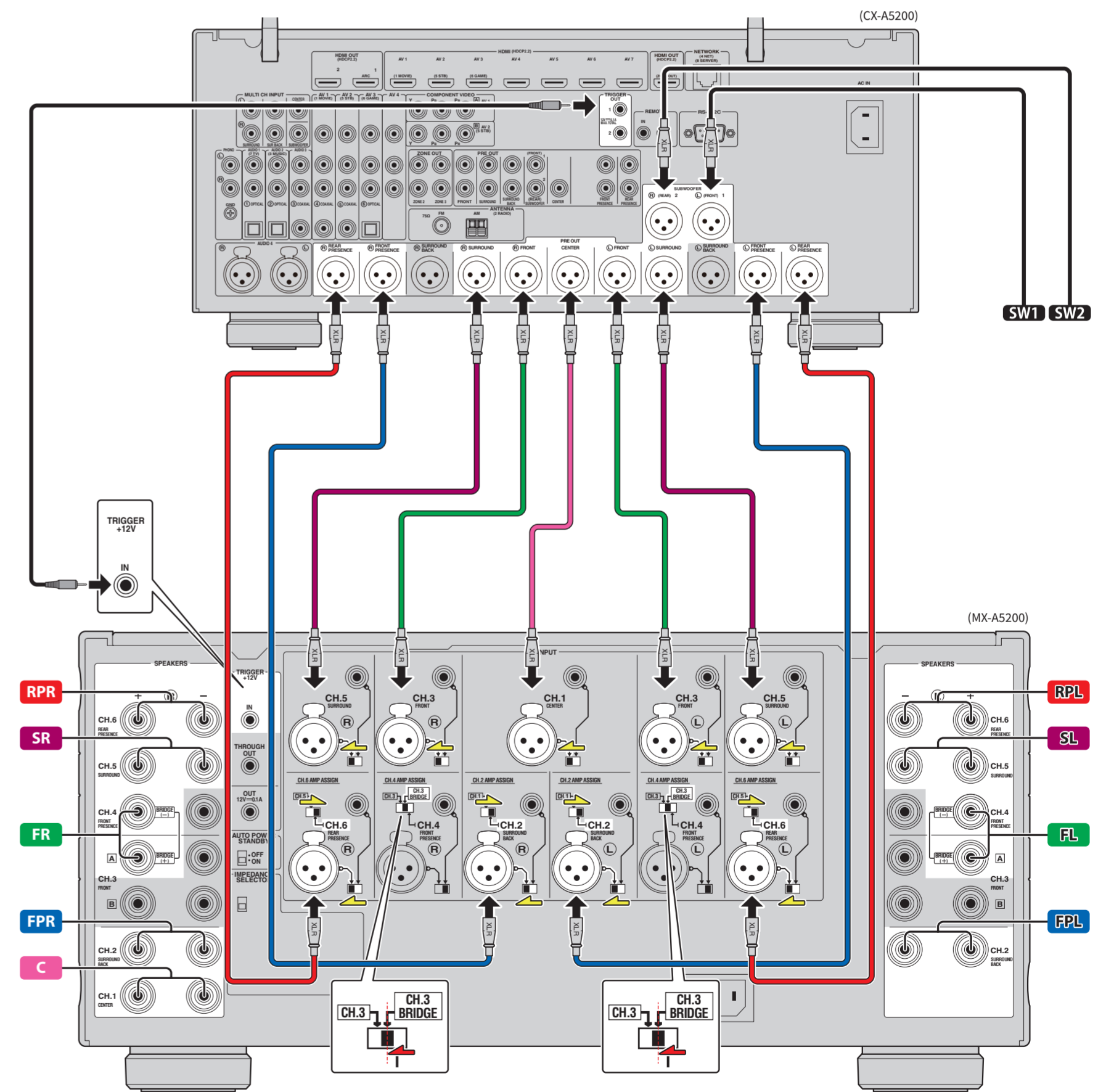
- 各スイッチは上図に合わせて、矢印（▲）の方向に動かしてください。
- 必ずCX-A5200の「マルチゾーン設定」でゾーン2/ゾーン3出力の「音量」を「可変」（初期値）に設定してください。「固定」に設定した状態で再生すると、過大な音量によりパワーアンプやスピーカーが故障するおそれがあります。詳しくは、CX-A5200の取扱説明書をご覧ください。

4 メインホームシアター（フロントブリッジ接続9チャンネル）



このシステムでは、フロントスピーカーをブリッジ接続することで高出力な音声をお楽しみいただけます。

- ！サブウーファーの接続は、サブウーファーに備わっている入力端子により、バランス接続（XLR）またはアンバランス接続（RCA）を選んでください。



- 各スイッチは上図に合わせて、矢印（▲）の方向に動かしてください。
- 矢印（▲）のスイッチは、BRIDGEに合わせてください。